

環 境 産 業 委 員 会 会 議 録

- 1 期 日 平成24年3月2日(金)
- 2 会 場 第1委員会室
- 3 開会時刻 午前 9時40分
(休憩11:04~11:13 12:01~12:56)
- 4 閉会時刻 午後 2時04分
- 5 出席者 委員長 山崎 恵 司 副委員長 山本行 男
委員 内藤 澄 夫 委員 加藤 一 司
委員 鈴木 正 治 委員 栗原 通 泰
委員 山崎 恒 男 委員 榛葉 正 樹
(当局側) 副市長、環境経済部長、都市建設部長、部付参与、所管課長ほか
か (事務局) 議事調査係 平尾泉美
- 6 審査事項
・議案第 36号 平成23年度掛川市一般会計補正予算(第5号)について
第1条 歳入歳出予算の補正
歳入中 所管部分
歳出中 第2款 総務費(第1項32目)
第4款 衛生費(第2項衛生費、第3項清掃費)
第5款 労働費
第6款 農林水産業費
第7款 商工費
第8款 土木費
・議案第 41号 平成23年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算(第1号)について
・議案第 42号 平成23年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について
・議案第 43号 平成23年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)について
て
・議案第 44号 平成23年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算(第2号)について
号)
・議案第 50号 公の施設の指定管理者の指定(森林果樹公園)
- 7 会議の概要 別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成24年3月2日

市議会議長 竹 嶋 善 彦 様

環境産業委員長 山 崎 恵 司

7 会議の概要

平成24年3月2日（金）午前9時40分から第1委員会室において全委員出席のもと開催。

- 1) 委員長あいさつ
- 2) 当局（副市長）あいさつ
- 3) 付託案件審査

[9:56～12:01]

①議案第36号 平成23年度掛川市一般会計補正予算（第5号）について

第1条 歳入歳出予算の補正

歳入中 所管部分

歳出中 第2款 総務費（第1項32目公共交通対策費）

第4款 衛生費（第2項衛生費、第3項清掃費）

第5款 労働費

第6款 農林水産業費

第7款 商工費

第8款 土木費

人件費について 廣畑環境経済部長 説明 9:43～9:44

第4款 衛生費

[環境政策課、説明 9:45～9:53]

[質疑 9:53～10:05]

○栗原通泰委員

140頁、実績に照らし合わせて、大幅な減額になった背景・要因は何があるのか。市民皆さんがごみ排出が少なくなった意味合いで減になっているなら非常に喜ばしいことですが、そこはどのような状況か。

●榛村環境政策課長

主に大きな金額でいきますと、3・収集管理費の（1）の部分と5・環境資源ギャラリー運営支援費であります。3・（1）部分は、収集業務業者の方が色々と頑張っていたいただき、受ける金額を下げてくださいました。5・環境資源ギャラリー運営支援費は、衛生施設組合事務局の方が、平成22年度から努力をしていただき、職員がやっている仕事を大部分が民間に委託され今年度完成し、委託料が増えたが人件費が下がった。

市民の方々にもごみ減量を努力して頂いているが、少し減量ペースが落ちており、合併した当時と比べると減量であるが、昨年と比べて色々な要素を研究中であり、少し増加傾向にある状況であると分析中である。

●廣畑環境経済部長

収集管理費（1）の一般廃棄物処理事業費中で大東・大須賀区域ごみ処理委託料3,590万円大幅に減額になっているが、環境資源ギャラリー運営費が減ったことに連動して委託料が減っている。ギャラリーの処理費が減れば当然大東・大須賀から持っていくごみの処理費も減る。

○山本行男副委員長

ごみの収集業者（パッカー車）は、委託契約会社は何社か

●榛村環境政策課長

色々な業種があり、燃えるごみについては、2社、燃えないごみ収集は、2社、ビン・缶・ペットボトルは、1社、古紙回収については、1社でダブってやっている所もある。

色々な業種があり、業者数は4社である。

○鈴木正治委員

ごみ減量は、今年度と来年度ではどうか。収集費用が下がっているが、収集業者については、かなり採算が合うペースで来ていて、それが縮小する考えか。

環境政策課長

積算をして、後から業者の方から見積書・入札していただくが、段々と業者数が増加し競争が激しい。企業努力により下げてきていると考えている。

○鈴木正治委員

23年度対24年度はどのような見込みか。まだ下がるのか。

●廣畑環境経済部長

委託料は市で設計して予算査定した金額であるので、最高そこまでかかる金額である。見積もりを取り、業者が複数あれば競争が働き下がるので、今回も大きな減額980万になった。既に、パッカー車を持って減価償却されていけば低額で入札をいただけるが、新規参入業者は、車の投資が必要になる。

●榛村環境政策課長

平成23年度の収集予定事業費は、9,500万である。平成24年度で考えているのは、9,100万である。

●廣畑環境経済部長

新年度ですが、24年度4月からごみ収集が始まるので、そのためには今頃から準備していかなないと新たな業者になった時に、作業が出来ないということなる。まだ、新年度予算は審議していないので、下準備の見込み金額をお知らせする。

●榛村環境政策課長

燃えるごみは、現在8,000万円程の金額である。

○栗原通泰委員

古紙回収を次年度から辞めるが、それに対する経費削減はその位の金額か。

●榛村環境政策課長

古紙回収予算ベースは、1,200万で予算化している。古紙売り払い収入は、400万円を計上していた。再引きで800万であるが、24年度からは、古紙回収を辞めるので、800万の一般財源を使わなくて良いことになる。

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

第4款 衛生費

第6款 農林水産業費

第8款 土木費

〔下水整備課、説明 10:06～10:12〕

〔質疑 10:12:～10:12〕

なし

第5款 労働費

第7款 商工費

〔商工労働観光課、説明 10:13～10:17〕

〔質疑 10:17～10:29〕

○山本行男委員

144頁、緊急雇用905万1,000円は国の補助で、非常勤職員賃金減額500万あるが、厳しい雇用で仕事を探しているのので、新しい者を付けて人を臨時的、有効に生かして行けないのか。国の縛りがあり、できなくて減額になるのか。

●岡本商業労政観光課長

掛川市は21年から緊急雇用創出事業を実施している。23年度も2億以上の予算で41事業150人位の人を雇っている。事業を最終的に精査し、新たな事業の展開を考え、補正、増額してきたが、この時期からの新規事業の実施はできないため減額となる。

●廣畑環境経済部長

非常勤職員賃金減額500万円は、大きい減額になるが、雇用のミスマッチがあり募集は掛けるが、応募が少なかった例もあり最終的には減額になってしまった。

○鈴木正治委員

144頁、勤労者住宅建設資金貸付事業費が減っているが、概ね住宅着工戸数はどの位か。

●岡本商業労政観光課長

500万を上限で貸出して、72件3億6,000万の予算を付けている。22年度までの融資残高が確定したので、実績数値に合わせて減額になった。

今年の1月までの貸出実績は48件貸出しをしており、金額は2億3,600万円位である。

○榛葉正樹委員

緊急雇用はどの位続けられる事業か。

一つ一つの事業に対し、延長期間があると思うが、事業が終わったのち事業を継続できる形になっているのか。

●岡本商業労政観光課長

平成21年度から23年度までの国の交付金を県が積み立て、市に補助金で出すものであり10/10の補助金である。県の基金が若干残っているので、来年度まで継続になった。

24年度もできるだけ多くの事業を予算計上させていただいている。緊急雇用は、雇用を創設する目的で半年・1年の中で色々な事業を実施し、その雇用期間中に次のステップとして正社員になっていただくことを目的としている。

●廣畑環境経済部長

市が継続してやっていけるかですが、内容によっては複数年に渡っているものもある。普通は単年度で終了、次年度は市が単費を付けて継続してやるべきか、完全に終了するかどうか判断する。

○栞原通泰委員

海岸防災林除伐下刈り事業委託料は、市が単費で継続していく事業か。

●廣畑環境経済部長

松枯れの木を切り、実生により広葉樹が生え、定期的に管理するために、草を刈り手入れする事業である。必要な所は終了したので、24年度は考えていない。

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

第6款 農林水産業費

〔農林課、説明 10:30～10:10:47〕

[質疑 10:47~10:55]

○山崎恵司委員長

68頁、東遠青果流通センター出資金返還金で、最終的に何人該当者がいたのか。株券はどうなっていたのか伺う。

●松本農林課長

東遠青果流通センターについては、菊川市・森町・御前崎市、株式会社丸小笠・掛川市が株主になっている。設立当初で2億円の中で48, 1%が掛川市筆頭株主で市長が社長を務めていた。3月27日解散予定である。

市の出資額が9, 618万円で、返還金は3, 700万円の見込みである。

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

第5款 労働費

第7款 商工費

[新産業推進課、説明 10:55~10:58]

[質疑 10:58~11:04]

○栗原通泰委員

農商工連携関係商品開発で、実績はどのようになったのか。

●安藤新産業推進課長

商品開発の実績は、掛川ブランド化商品で栗焼酎プロジェクトがあり、今年度から正式にこれしか処で販売している。

ヘチマ水関係でシルバー人材センター・体育協会ではチマ水から化粧品を作る実験をしている。2件の商品開発がおこなわれている。

○鈴木正治委員

企業誘致対策費で、産業立地奨励事業費補助金が減ったのは、申請が無いのか、単価が減ったのか。

●安藤新産業推進課長

申請者については、当初見込みに比べて申請該当でなかった者がある。主として、設備投資の金額が、減少した。

○内藤澄夫委員

当局側のピールが大変重要である、どの様にしているか。

●安藤新産業推進課長

東京事務所に1名派遣し、毎月月例報告を受け東京・大阪へ職員が出向き、ゼネコン・銀行等情報収集にあたっている。

市内大手工場についても、訪問ヒヤリングをし、実績としては、延べ64社を市長以下担当課職員が訪問し、情報収集に努めている。

○山崎恒男委員

第2エコポリスの誘致は、状況を解る範囲で教えていただきたい。

●安藤新産業推進課長

今現在の情報は、製造業で契約には至っていないが、2、3話がある。今後全力で契約に取り組みたい。

○山崎恒男委員

誘致したいのは 2、3社あるということですね。

●安藤新産業推進課長

今のところ、交渉をしている。

●伊村副市長

一番心配されるのは、早く誘致して働ける場を確保することであるが、その次に心配されているのが、金利の話である。開発公社事務局に聞きますと低金利で融資を受けている中で、1年お遅れれば概算で、1,000万円位だと。金利払いが大変な状況でない。

新エコポリスについては、26年度まで事業費を見ているので、26年までに完売できれば、今の積算費用の中でいける。

[休憩 11:04~11:13]

第8款 土木費

[道路河川課、説明 11:13~11:24]

[質疑 11:24~11:35]

○内藤澄夫委員

パイプライン事業に合わせて、農道（市道）の整備（舗装）をお願いしたい。

●内山都市建設部長

農業地帯の市道としての整備ができるか難しい。国の交付金のようなシステムを市として考える時期にきていると思っている。

○内藤澄夫委員

採石をひく程度でも良いので考えてほしい。

●内山都市建設部長

地域に必要なでどこの地域にも実施できるような手立てを考えていきたい。

○山本行男委員

信号機が老朽化により倒れることも聞くが、掛川では調査をやっているか。市民からの声があるのか。

●山崎道路河川課長

昨年大東区域で強風が吹いた日、照明灯の支柱が倒れたことが1件あった。塩害が海岸地域にはあるので、その時に、同年代に建設された街路灯関係に関して大東区域のパトロールということで調査して、大東支所南側の幹線に4本ほど該当する街灯があり、腐食等があったので事前に取り替えをした経過がある。

●内山都市建設部長

掛川市で道路に附属する設備または道路本体に関して老朽化の調査をしているのは、まずは橋梁から始まる。だいたい橋梁について調査が進み、その橋梁について調査を踏まえて、100件以上あるので、一気に更新ができないので、何とか長持ちさせると、100点で造ったものを75点までは強度が持てるので75点で維持しようと考えている。次に道路の路面について、今考えはじめようとしている。そういう手順でやらないとこれだけ施設が市内じゅうにあると職員だけでは、手がまわらない状況ですので、周辺の市民の目でお知らせしていただき、その時、その時の修繕を今現在はやろうとしている。今後は、橋梁の調査を終えて、定期的に調査をして安全を保とうと考えている。

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

第8款 土木費

〔都市整備課、説明 11:35～11:47〕

〔質疑 11:47～11:55〕

○榛葉正樹委員

東街区の状況はどうか。

●新堀都市整備課長

公共床を設置しないということから、準備組合でその切り替え方法等について協議中であり、報告できるまでに至っていない。

○榛葉正樹委員

期限はないのか

●新堀都市整備課長

期限はないが、国県から状況についての問い合わせはある。事業費の組み立てができれば、国県に補助金を申請する。新年度についても予算の申請はさせていただいている。継続事業として扱っている。

○内藤澄夫委員

公営住宅でだいぶ古くなったものは取り壊しができるのか。

●新堀都市整備課長

他所の市営住宅に移転していただく方法が考えられる。取り壊しについては、担当課である管財課と協議する。

○山崎恒男委員

166頁の洋望台土地区画整理事業管理費、下落分の10,418千円の増は、何区画分か。

●新堀都市整備課長

8区画分である。

○山崎恒男委員

残区画の販売見通しはどうか。

●新堀都市整備課長

事業計画としては、本年度完了の年であったが、事業年度を2年延伸した。24年度中に完売を目指している。できれば一括して購入していただけるよう、不動産会社、住宅メーカーと協議をすすめている。

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

第2款 総務費

第8款 土木費

〔都市政策課、説明 11:55～12:01〕

〔質疑 12:01～12:01〕

なし

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第36号 平成23年度掛川市一般会計補正予算（第5号）については
全会一致にて原案とおり可決

〔12:56～13:06〕

②議案第41号 平成23年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第1号）について

〔都市政策課、説明 12:56～13:00〕

〔質 疑 13:00～13:06〕

○栗原通泰委員

社会実験をしたことの分析はどうか。

●原田都市政策課長

駐車場利用台数は、12月の前年比較の数字は、駅南第一駐車場で119.6%、駅南第二駐車場で104.4%、駅北駐車場で108.9%といずれも増加している。駐車場全体では、111.6%と増加、駐車場としては利用台数が増加している。平成23年度4月から15分無料化と15分については、無料としているので、実際に増えているが、無料の分もあり、使用料収入については、104.2%であり、台数も増え、収入も増えている。

○山崎恒男委員

121頁の南口のトイレの場所と考え方について伺う。

●原田都市政策課長

南北自由通路にあるJRのトイレのトイレトペーパーがない等の苦情があり、市としてトイレの整備をするもので、南口へ市のトイレを設置するものである。位置については、南北自由通路を南へ出た、東側正面、駅前広場と駐車場を跨ぐかたちで南北に長く配置するよう考えている。北側から男子トイレ、多目的トイレ、女子トイレ順で、男子トイレに小便器3、大便器1、女子は3とする考えである。

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第41号 平成23年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第1号）については
全会一致にて原案とおり可決

〔13:06～13:19〕

③議案第42号 平成23年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について

〔下水整備課、説明 13:06～13:16〕

〔質 疑 13:16 ～13:19〕

○山崎恒男委員

風力発電に係る電気料の雑入の減額は、台風、落雷によるトラブルで回転翼に損傷があったためとのことであるが、その復旧工事費は計上しないのか。

●栗田下水整備課長

補正での計上を検討したが、南部の地域で季節が冬ということ、地上からの高さが五十数メートルあるということから作業をするのに風が強すぎるということで、作業が不可能である。風の静かな新年度上半期に工事すべく、新年度予算に計上する考えである。

○栗原通泰委員

今年度の接続率は、目標値に比較してどの程度であったのか。

●栗田下水整備課長

24年1月末の接続率と23年1月末の接続率の比較は、掛川処理区では1.6%改善して82.9%、大東処理区では、1.1%改善して86.6%、大須賀処理区では2.1%改善して63.3%である。改善率は、3処理区平均するとプラス1.6%である。3処理区の平均接続率は、79.5%である。

○山崎恵司委員長

以上で質疑を終了する。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第42号 平成23年度掛川市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）については
全会一致にて原案とおり可決

[13:20～13:22]

④議案第43号 平成23年度掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）について

〔下水整備課、説明 13:20～13:22〕

〔質 疑 13:22～13:22〕

なし

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第43号 平成23年掛川市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）については
全会一致にて原案とおり可決

[13:23～13:28]

⑤議案第44号 平成23年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算（第2号）について

〔下水整備課、説明 13:23～13:28〕

〔質 疑 13:28～13:28〕

なし

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第44号 平成23年度掛川市浄化槽市町村設置推進事業特別会計補正予算（第2号）
については

全会一致にて原案とおり可決

[13:30～13:32]

⑥議案第50号 公の施設の指定管理者の指定について（森林果樹公園）

〔都市整備課、説明 13:30～13:33〕

〔質 疑 13:33～13:33〕

なし

〔討 論〕
なし

〔採 決〕
議案第50号 公の施設の指定管理者の指定（森林果樹公園）については
全会一致にて原案とおり可決

〔13:35～14:02〕

⑦陳情第2号・陳情第3号 TPP交渉参加反対の意見書採択に関する要請（継続審査）

〔質 疑 13:35～14:02〕

○山崎恵司委員長

前回、継続審査とした陳情第2号、第3号について結論を出さなければならない。委員の意見をお聞きする。

○加藤一司委員

この文言から判断すると、TPPそのもの全体に反対と受ける。国の方針としては、アメリカ、あるいはオーストラリア等と交渉しているのは、細目的な関係ではないかと思う。農業全体でなく、米、肉等の細目的なことを出し直してもらったらどうか。

○内藤澄夫委員

アメリカは全てのものをテーブルにのせると言ってきている。日本の農業に関係する族議員は反対と言っている。この文言は、農業だけに限って反対と言っているものと解釈する。採択で良いのではないか。

○山崎恒男委員

この文言で判断すると、TPP全てに反対と解釈する。できることなら、包括として考えずに部分的なものにしていただき、可能であるならば出し直してもらいたいと考える。

○栗原通泰委員

農業だけでなく、工業立国としての日本の側面もある。分離をしていただき、議論をすることが肝要かと思う。

○榛葉正樹委員

TPP全体に反対というと賛同できない。掛川市全体としての成長戦略、工業誘致等進めていくわけであり、現時点で部分的なもので、掛川市にとって不利益であれば、反対も考えられるが、現状でTPP全体に反対であれば不採択とすべしとの判断である。

○山本行男副委員

私は、前回採択すべしと考えた。この陳情内容は、農業についてTPP交渉参加反対と捉えており、採択すべしとの考えである。

○山崎恒男委員

両農協からの陳情の文面は、国内農業が崩壊してしまうといわれているわけだが、内藤委員と山本副委員長は、TPP全部という理解ではないのか。

○内藤澄夫委員

農業です。

○加藤一司委員

タイトルとしてはTPP交渉参加反対ということです。

○内藤澄夫委員

これは、基本的には工業だとか商業と一切書いてない。農業です。

○山崎恒男委員

このTPP交渉参加反対に関する意見書ということなので、包括した内容全部と理解するが。

○内藤澄夫委員

もし、これを工業なり商業なり医療なりということになると、そういう文言を書いてこなくては、いけない。これを見る限り、農業のことについていっているとしかとれない。TPP交渉に反対のことは間違いないが。工業のこと商業のこと医療のことは、全く書いてなくて、とにかくこのなかに出ているのは、食料のこと農業のことだけについていっている。このことに

については、採択だと考える。もしこれに、工業・商業・医療のことが書かれていれば、簡単に、採択、不採択ができない。

○山崎恒男委員

内藤委員が言われるように理解をするなら、T P P交渉参加にあたって農業問題について反対とか、タイトルがそうなら、その通りと考える。

○加藤一司委員

文言を我々が変えることができれば良いが、これは変えることができない。よって、今回は不採択として、きちっとした文言に変えるようにしたらどうか。我々が議会運営委員会に、意見書案を提出する時も、文言をタイトルと合わせて出す。そういう考え方でどうか。

○鈴木正治委員

T P P交渉参加反対は、包括的と捉えられる。受け取る方は、全てに反対ととるのではないか。

○山本行男委員

しかし、陳情者が農協であるので、そこを鑑みればどういう意味あいか解るのではないか。

○加藤一司委員

現状では、農業団体としてT P P参加反対を出すことが大事ではないか。

○山崎恒男委員

実際問題としては、交渉に入っており国内も賛成反対が半々くらいと聞いている。その中で工業部門については、積極的に参加しなくてはいけないという意見が強い。しかし、そうはいっても農業は、ダメだと。政府の中でも部門部門で賛成反対が別れている。部門部門で賛成反対をいうならよいが、このタイトルは包括されていると理解しており、できることなら分割してはっきりさせた方が良いと考える。

○加藤一司委員

もし工業に関係する人たちが、T P P賛成の意見書を出されたら、中身は工業だと。その時の対応のこともあり、タイトルと文面を合わせたものとした方がよいのではないか。

○山崎恵司委員長

意見をまとめると、農協がいつていることは解ると。ただし、採択をするには、タイトルを変えてもらえないかということだと思ふ。

○山崎恵司委員長

まだ、認識が足りない点やよく理解ができない点があるので、次回の産業委員会において、もう一度審査する。

4) 閉会 14:04